

教育研究業績

学部： 人間発達学部 学科：子ども発達学科

領域：

氏 名	豊田 和子	職 名	教授
教育活動	<p>【学部】 保育原理、保育者論、教職実践演習（幼）、子どもの発達と芸術、保育所実習Ⅰ、保育所実習指導Ⅰ、基礎演習、専門演習、卒業研究指導</p> <p>【大学院】 幼児教育学特論、幼児教育学特演、修論指導</p>		
学 位	教育学修士（広島大学）		
学 歴	<p>昭和 47 年 3 月 広島大学教育学部教育学科 卒業</p> <p>昭和 47 年 4 月 広島大学大学院教育学研究科修士課程 入学</p> <p>昭和 49 年 3 月 広島大学大学院教育学研究科修士課程 修了</p>		
職 歴	<p>昭和 49 年 4 月 福山市立女子短期大学 助手（昭和 52 年 3 月まで）</p> <p>昭和 52 年 4 月 日本福祉大学女子短期大学部・日本福祉大学社会福祉学部 非常勤講師（昭和 57 年 3 月まで）</p> <p>昭和 52 年 4 月 暁学園短期大学 非常勤講師（平成 4 年 9 月まで）</p> <p>昭和 56 年 4 月 名古屋短期大学 非常勤講師（昭和 59 年 9 月まで）</p> <p>昭和 61 年 4 月 岐阜大学教育学部 非常勤講師（平成 3 年 3 月まで）</p> <p>平成元年 4 月 三重大学教育学部 非常勤講師（平成 13 年 3 月まで）</p> <p>平成 4 年 4 月 高田短期大学 専任講師・助教授・教授（平成 20 年 3 月まで）</p> <p>平成 20 年 4 月 桜花学園大学保育学部 教授（平成 27 年 3 月まで）</p> <p>平成 27 年 4 月～ 名古屋芸術大学人間発達学部 教授（現在まで）</p>		
専門分野	幼児教育学、保育学		
研究課題	<p>1. ドイツの幼児教育の内容・方法と保育者養成に関する研究</p> <p>2. 戦前戦後の日本の幼児教育・保育に関する実証的研究</p>		
教育研究業績	<p><直近 10 年間></p> <p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 改訂 新保育方法論（共著），保育出版社（平成 21 年） 2. 新・保育原理－このすばらしき保育の世界へ－（共著），みらい（平成 21 年） 3. 実践を創造する 保育内容総論（編著），みらい（平成 22 年） 4. シードブック 保育原理（共著），建帛社（平成 23 年） 5. 豊かな保育をめざす保育課程・教育課程（共著），みらい（平成 23 年） 6. プロとしての保育者論（共著），保育出版社（平成 23 年） 7. 保育のこれからを考える 保育・教育課程論（共著），保育出版社（平成 24 年） 8. 改訂 保育学研究倫理ガイドブック（共著），フレーベル館（平成 24 年） 9. 保育者養成シリーズ 幼稚園実習（共著），一藝社（平成 24 年） 10. 実践を創造する幼児教育の方法（編著），みらい（平成 25 年） 		

11. 教育方法学ハンドブック（共著），学文社(平成 26 年)
12. なぜ世界の幼児教育・保育を学ぶのか(共著)，ミネルヴァ書房（平成 29 年）
13. 実践を創造する保育原理 第 2 版(編著)，みらい(平成 30 年)
14. 新・保育原理－すばらしき保育の世界へ－(共著)，みらい(平成 30 年)
15. シードブック 保育原理 三訂(共著)，建帛社(平成 30 年)
16. 実践を創造する保育内容総論 第 2 版(編著)，みらい(平成 30 年)
17. 健やかな育ちを支える乳児保育 I・II（編著）建帛社（平成 31 年）
18. 戦後保育はいかに構築されたか－福岡県における昭和 20 年代の保育所・幼稚園（共著）新読書社（令和元年）

【学術論文】

1. 統一後のドイツにおける保育・就学前教育事情（その 1）－家族支援と保育制度－（単著），桜花学園大学保育学部研究紀要，第 7 号(平成 21 年)
2. 食育に関して保育園と家庭との連携を作っていくための調査研究(1)（共著），高田短期大学「高田短期大学紀要」第 27 号（平成 21 年）
3. 保育園児の生活リズム実態とその改善のための教育的アプローチ（査読付）（共著），中部教育学会編「中部教育学会紀要」第 9 号（平成 21 年）
4. 統一後のドイツにおける保育・就学前教育事情（その 2）－幼稚園における『教育の質』をめぐる研究－（単著），桜花学園大学保育学部研究紀要，第 8 号(平成 22 年)
5. 福岡県における戦後モデル保育所に関する研究－木屋瀬保育園の事例から－（共著），愛知県立大学教育福祉学部「愛知県立大学児童教育学科論集」第 44 号（平成 22 年）
6. 統一後のドイツにおける保育・就学前教育事情（その 2）－幼稚園における「教育の質」をめぐる研究－（単著），桜花学園大学「桜花学園大学保育学部研究紀要」第 8 号（平成 23 年）
7. 福岡県のモデル保育所に関する研究－上広川保育園の場合－（共著），愛知県立大学教育福祉学部「愛知県立大学児童教育学科論集」第 45 号（平成 23 年）
8. 保育者の専門生の検討と初年次ゼミでのポートフォリオ活用の意義，（単著），桜花学園大学「桜花学園大学保育学部研究紀要」第 9 号（平成 23 年）
9. ドイツの幼稚園における「教育の質」をめぐる議論と成果－Tieztze ら（ベルリン自由 大学研究グループ）を中心に－（査読付）（単著），日本保育学会編「保育学研究」第 49 巻第 3 号（平成 23 年）
10. 統一後のドイツにおける保育・就学前教育事情（その 3）－ベルリンの教育プログラムにみる就学前教育改革－（単著），桜花学園大学「桜花学園大学保育学部研究紀要」第 10 号（平成 24 年）
11. 保育者が語る「幼児理解」に関する傾聴を主とした実践的研究の試み（共著），桜花学園大学「桜花学園大学保育学部研究紀要」第 11 号（平成 25 年）
12. 福岡県における占領期の保育(1)－「九州新聞」の分析を中心に（共著），愛知県立大学教育福祉学部「愛知県立大学教育福祉部論集」第 61 号（平成 25 年）
13. 19 世紀前半期のドイツにおける保育施設とその職業の生成に関する研究－幼児保育職の専門性論議を中心に－（査読付）（単著），名古屋大学大学院発達教育

研究科「職業とキャリアの教育学」第 20 号（平成 26 年）

14. 福岡県における占領期における保育構築に関する実証的研究（2）（共著），愛知県立大学教育福祉学部「愛知県立大学教育福祉学部論集」第 62 号（平成 26 年）
15. 幼小連携の課題と現状についての研究（共著），桜花学園大学保育学部研究紀要，第 12 巻（平成 26 年）
16. フレーベル受容期における幼稚園教師養成課程の構築に関する研究－19 世紀ドイツ・フレーベル連合を中心に－（査読付）（単著），日本産業教育学会「産業教育学研究」第 45 巻第 1 号（平成 27 年）
17. 幼小接続カリキュラムの視点から野村芳兵衛（1896-1982）を読み解く－「遊び」と学習」を中心に－（単著），名古屋芸術大学研究紀要第 38 巻（平成 29 年）
18. 中堅保育者による自己認識と保育実践力を高めるための課題についての考察（単著），名古屋芸術大学教職センター紀要 第 5 号（平成 29 年）
19. ドイツにおける保育者養成のアカデミー化の現状と課題－保育の質課題からの検討－（単著），名古屋芸術大学教職センター紀要 第 6 号（平成 29 年）
20. 終戦前後の幼児教育・保育に関する実証的研究－幼稚園を中心に－（共著），名古屋芸術大学研究紀要 第 39 巻，（平成 30 年）

【学会発表】

1. ドイツの幼稚園における「教育の質」をめぐる議論，中部教育学会第 58 回大会（名古屋大学にて）（平成 21 年）
2. 福岡県に置ける戦後モデル保育所に関する実証的研究－その 1－（共同），日本教育学会第 68 回大会（東京大学にて）（平成 21 年）
3. 乳幼児期の生活リズム向上のための取り組み（3）（共同），日本保育学会第 62 回大会（千葉大学にて）（平成 21 年）
4. 名古屋市における昭和 30 年代から 40 年代にかけての保育－公立幼稚園の保育の実際－（その 1）（その 2）（共同），日本保育学会第 62 回大会（千葉大学にて）（平成 21 年）
5. 自主シンポジウム「保護者支援の専門的力量形成と機関連携システムの構築を考える～養成校は何ができるか～」，日本保育学会第 63 回大会（松山東雲大学にて）（平成 22 年）
6. 名古屋市における昭和 30 年代から 40 年代にかけての保育（その 4）（その 5）（共同），日本保育学会第 63 回大会（松山東雲大学にて）（平成 22 年）
7. 保育園児の保護者支援のあり方検討（1）－乳児クラスの実態調査－（共同），日本保育学会第 63 回大会（松山東雲大学にて）（平成 22 年）
8. 戦後福岡県におけるモデル保育所に関する研究（2）（共同），日本教育学会第 69 回大会（広島大学にて）（平成 22 年）
9. 男性の子育てとワーク・ライフ・バランスの課題－乳幼児を持つ男女の育児関与実態調査から－（共同），日本乳幼児教育学会第 20 回大会（関西学院大学にて）（平成 22 年）

	<p>10. 統一後のドイツにおける保育制度の動向、日本保育学会第 64 回大会（玉川大学にて）（平成 23 年）</p> <p>11. 戦後福岡県におけるモデル保育所に関する研究（3）（共同）、日本教育学会第 70 回大会（千葉大学にて）（平成 23 年）</p> <p>12. ドイツにおける幼小携・接続の取り組み－研究動向と実際－、日本保育学会第 65 回大会（東京家政大学にて）（平成 24 年）</p> <p>13. 福岡県における戦後保育構築に関する実証的研究(1)(共同)、日本教育学会第 71 回大会(名古屋大学にて)(平成 24 年)</p> <p>14. 福岡県における戦後保育構築に関する実証的研究(2)(共同)、日本教育学会第 72 回大会(一橋大学にて)(平成 25 年)</p> <p>15. Deutsche Frobels-Verband が果たした養成教育の役割に関する考察、日本ペスタロッチ・フレーベル学会第 31 回大会（北星学園大学にて）（平成 25 年）</p> <p>16. 保育・幼児教育分野の養成課程の現状－4 年制大学と短期大学の比較－、日本産業教育学会第 54 回大会（名古屋大学にて）（平成 25 年）</p> <p>17. 自然あそびにおける「学び」の拡がり－野村芳兵衛の指導構想を手がかりに－（共同）、日本乳幼児教育学会第 23 回大会（千葉大学にて）（平成 25 年）</p> <p>18. 福岡県における戦後保育の構築に関する実証的研究（3）（共同）、日本教育学会第 73 回大会（九州大学にて）（平成 26 年）</p> <p>19. 幼稚園における戦前の保育研究会－北九州保育会を中心に－（共同）、日本教育学会第 74 回大会（お茶の水女子大学にて）（平成 27 年）</p> <p>20. 戦前戦後の幼児教育・保育に関する実証的研究（1）－幼稚園の事例から－（共同）、日本教育学会第 75 回大会（北海道大学にて）（平成 28 年）</p> <p>21. ドイツにおける保育者養成の改革、日本保育学会第 70 回大会（川崎医療福祉大学にて）（平成 29 年）</p> <p>22. 戦前戦後の幼児教育・保育に関する実証的研究（2）－続・幼稚園の事例から－（共同）、日本教育学会第 76 回大会（桜美林大学にて）（平成 29 年）</p> <p>23. 幼児教育における国際教育の試み(共同)、日本保育学会第 71 回大会（宮城学院女子大学にて）（平成 30 年）</p> <p>24. 戦前戦後の幼児教育・保育に関する実証的研究（3）－保育所の事例から－（共同）、日本教育学会第 77 回大会（宮城教育大学にて）（平成 30 年）</p> <p>25. 昭和 20 年代の保育カリキュラムに関する実証的研究－名古屋市幼稚園の場合－（共同）、日本教育学会第 72 回大会（学習院大学にて）（令和元年）</p>
<p>所属学会 団体等</p>	<p>日本教育学会、日本保育学会、日本乳幼児教育学会、中部教育学会、日本ペスタロッチ・フレーベル学会</p>
<p>社会的活動</p>	<p>日本保育学会理事（平成 16 年 5 月～22 年 5 月まで） 全国保育士養成協議会専門委員（平成 22 年 5 月～24 年 5 月まで） 日本保育学会誌 論文査読委員（平成 19 年度～現在まで） 全国保育士養成協議会中部ブロック幹事（平成 28 年 5 月～現在まで） 愛知県現任保育士研修運営協議会理事（平成 28 年 5 月～現在まで）</p>

その他	特記事項なし
-----	--------